

研究課題：

脳性麻痺児における日本語版 Musculoskeletal Pathology (MSP) の信頼性と妥当性

1. 研究の目的

当センターでは脳性麻痺のお子さんに対して整形外科術やボツリヌス毒素療法などの治療を行っています。これらの治療は運動能力の向上や歩容(歩き方)の改善を目的に行われており、運動能力の向上は当センターの結果からも明らかになっています。当センターでは、さらに適切な介入・治療のタイミングを検証するために、脳性麻痺のお子さんの新しい分類を検証します。

2. 研究の方法

2000年4月1日から2022年3月31日の間に脳性麻痺と診断されており、4-18歳のうちにデジタルカメラで歩行評価と運動能力の評価を行ったお子さんが対象です。基本情報として、年齢・性別・麻痺の部位・運動能力の重症度などを情報取得し、歩行評価の分類を検討します。

3. 研究期間

研究期間は、2022年5月(倫理委員会承認後)から2024年3月31日です。

4. 研究に用いる資料・情報の種類

カルテ記録を基に年齢・性別・麻痺の部位・運動能力の重症度などを情報取得します。名前や生年月日など個人が特定されるような情報は取得しません。

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

個人情報を匿名化した上で、外部(下記の研究分担者)へ資料を提供します。この研究で得られた結果は、医学雑誌などに公表されることがありますが、患者様の名前など個人情報は一切分からないようにしますので、プライバシーは守られます。また、この研究で得られたデータが本研究の目的以外に使用されることはありません。

6. 研究組織

	所属	氏名
研究代表者	地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター 保健発達部	阿部広和
研究分担者	地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター 整形外科	平良勝章
	地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター 保健発達部	花町芽生
	北海道立子ども総合医療・療育センター リハビリテーション課	西部寿人 井上孝仁
	福島県立医科大学 保健科学部	楠本泰士
	札幌医科大学 医学部 公衆衛生学講座	樋室伸顕

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない
範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さ
い。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者
さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、
2022年9月31日まで下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者さ
んに不利益が生じることはありません。

地方独立行政法人埼玉県立病院機構
埼玉県立小児医療センター
医事担当（代表 048-601-2200）